

LIFE TIMES

三菱化学物流株式会社
<http://www.mclc.co.jp/>



平成26年3月3日（月）発行 【隔月（年6回）発行】

発行部署 : ソリューション営業本部ソリューション営業部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 白土 雄二郎
お問合せ窓口 : 芝 啓彦

第110号

【目次】

1. 三菱化学グループ生産技術ポスターセッション参加報告
2. JRコンテナMCLC専用枠の運用開始
3. 労働者派遣法の改正について
4. 場所紹介 ～枚方営業所の巻～
5. 2014年 展示会・セミナーのご紹介
6. LIFEによる物流改善提案のご紹介
～作業分析編～



1. 三菱化学グループ生産技術ポスターセッション参加報告

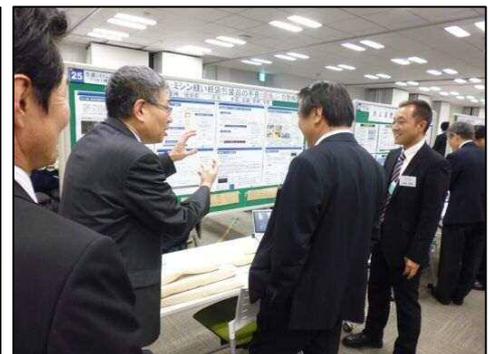
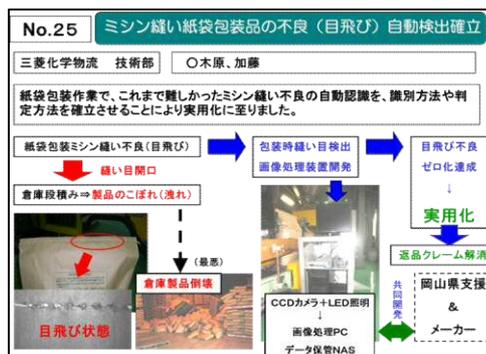
1月29日に第10回三菱化学グループ生産技術ポスターセッションが開催され、当社も昨年に続き出展しました。今年は、全体で32件の多様なテーマが出展されており、会場内は発表者と来訪者との間で、活発な情報交換が行われていました。

今回、当社は「ミシン縫い紙袋包装品の不良（目飛び）自動検出確立」というテーマで出展しました。紙袋包装では製品を充填した後に、袋をミシンで縫い、縫い目をテープにて覆う作業がありますが、その際縫い目に不良がある場合、倉庫積付の際などに荷こぼれによる製品倒壊を引き起こす恐れがあり、人による目視確認を行っていました。

今回メーカーと共に岡山県の産業支援（新技術開発）を受け、画像処理による不良品検出装置の実用化が可能となり、開発した装置概要を紹介致しました。

約2時間の説明時間でしたが、このテーマが現場直結の不具合改善内容であったためか、現場を管理される多くの方が興味を持たれ説明を聞いて頂きました。また開発経緯から今回のように他社との

設備開発を視野に入れた取り組みを行いたいとの声を聞くなど、常に興味を持たれた方が絶えない盛況で、多くの方のご意見を頂くことができる貴重な機会となりました。



2. JRコンテナMCLC専用枠の運用開始

2014年4月より、JRコンテナの当社専用枠の運用を開始致します。

- ①JRコンテナ活用に興味がある、話を聞いてみたい、②輸送コスト削減を図りたい、③環境(CO2)対策を図りたい、④製品及び物性、梱包形態、出荷ロットで最適な輸送を見つけたい 等
 お考えのお客様は是非当社にご相談下さい。

コストダウンと環境対策両立のご提案 **KAITEKI物流**

MCLCのJRコンテナ(5T)

お客様の事業競争力を確保し物流にかかるコストを確実に削減いたします

☆JRコンテナ MCLC専用枠運用開始(2014年4月～)

毎週月～金曜に5Tコンテナを当社専用枠として一定数確保し、安全・安心・安価な輸送を実施します

・集荷～オン・レール～配送(イメージ)

対象は全国です

安定・確実一貫物流

三菱化学物流では、「モーダルシフト」の要請にいち早く応え、少量輸送を行うトラックを船舶に載せて 運んだり、トラックからコンテナ船にシフトしたり、ISOタンクコンテナでの鉄道輸送など、環境にも配慮した輸送手段の最適化に取り組んできました。この度、更にJRコンテナ活用へと取り組んでいきます。三菱化学物流は「KAITEKI物流」を目指します。

・MCLC 専用枠対応列車

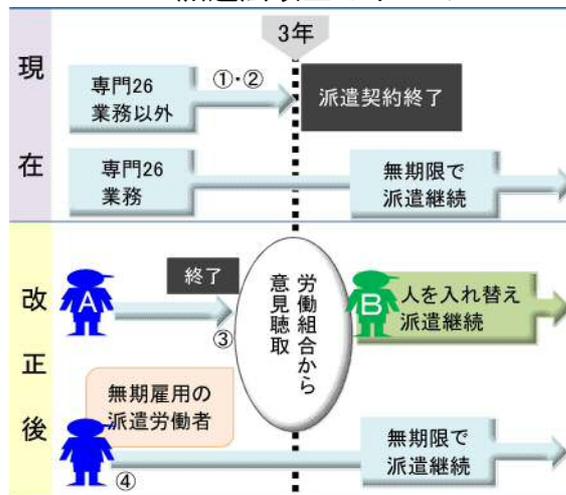
列車番号	発駅	着駅	ダイヤ	発地エリア	着地エリア
1092	北九州	神戸夕	0:54→11:45(当日)	九州	関西
8056	北九州	名古屋	22:08→13:42(翌日)	九州	中部
5052	北九州	東京夕	19:48→12:49(翌日)	九州	関東以北
5074	広島	東京夕	6:30→22:46(当日)	山口・広島	関東以北
5076	東水島	東京夕	18:10→8:06(翌日)	岡山	関東以北
5076	吹田	東京夕	23:00→8:06(翌日)	関西	関東以北
3086	名古屋	東京夕	23:34→5:32(翌日)	中部	関東以北
1064	西岡山	名古屋夕	1:00→8:04(当日)	岡山	中部

3. 労働者派遣法の改正について

1月29日、厚生労働省の労働政策審議会の部会は、2015年4月からの適用を目指す「労働派遣法改正案」の骨子となる最終報告案をまとめました。改正の主な内容は以下の通りです。

- ①秘書や通訳などの専門26業務を除いて業務ごとに最長3年となっている派遣期間の制限を廃止
- ②専門26業務という区分を撤廃
- ③全ての業務で、3年ごとに派遣労働者を変更すれば自社の労働組合の意見聴取することを条件に、派遣労働者に仕事を任せ続けられる
 (労組が反対した場合、企業は再検討し対応を説明しなければならないが、労組側に拒否権はない)
- ④派遣労働者が人材派遣会社とどうい雇用契約を結んでいるかで、派遣期間の上限が変わる

派遣法改正のイメージ



この改正により、今以上に働き手にとって多様性をもった活力ある職場環境が構築されたいと思います。

4. 場所紹介 ～枚方営業所の巻～

西日本エリア営業部枚方営業所は、大阪府枚方市の枚方企業団地内に所在するA社大阪事業所に3名、B社枚方工場に2名で入出荷業務を受託しており、各荷主事務所に駐在し、一体となった運営を行っています。さらに2社を営業所として一本化する事で業務運営体制を強化し事業の維持・拡大を図るべく、2014年2月1日に発足しました。

枚方市は、ヒートアイランド現象で大阪市付近で熱せられた空気が、大阪湾沿岸部からの海風に乗って淀川に沿って北上し、その空気が滞留する地形となっており、毎夏40℃近くまで気温が上昇します。その様な環境の中でも、高校ラグビーの全国常連校が存在していたりと気温だけではなく熱気にも満ち溢れた街です。

また、現在営業している日本の遊園地の中では最も古い歴史を持つ「ひらかたパーク」や桜の名所が多くあり市民の憩いの場となっています。さらに知名度はまだ低いですが、平安時代に「交野が原」と呼ばれていた現在の枚方市・交野市は、七夕伝説発祥の地と言われており、夏になると様々なイベントが催されます。

第二京阪の八幡東ICから国道1号線を経由して約15分、京阪電車樟葉駅からバスを乗り継いで約15分と立地環境も良いところです。

営業所は2月にスタートしたばかりですが、街の熱気に負けない様に、所員全員が一丸となって、“顧客満足度の向上”と“物流基盤の強化”を図り、荷主、協力会社から信頼される“KAITEKI物流”の実現に取り組んでまいります。

お近くまでお越しの際は是非、お立ち寄りください。



枚方八景「牧野の桜」



ひらかたパークの観覧車

5. 2014年 展示会・セミナーのご紹介

当社は物流効率化を進めるにあたり、本誌「LIFE TIMES」でもご紹介致しております様々な手法を用いていますが、物流を取り巻く環境やお客様のニーズの変化は非常に早く、今までの経験やスキルだけでは対応が難しくなってまいります。

常に最新の技術や情報に関心を持ち、取り入れるべきものは吸収しようと、展示会・セミナーには積極的に足を運ぶよう心がけています。実際に参加しますと、技術の進歩に目を見張ったりととても有意義な経験となっています。

下表は今年上半期に開催される物流に関連する展示会・セミナーの一部を表記したのですが、ご興味を持たれた方は、ご参加されてみてはいかがでしょうか。

開催月	展示会・セミナー名称		会期	開催地
3月	スマートモビリティアジア@東京 第5回 国際自動車素材・加工展 第5回 国際自動車通信技術展	展示会	12日～14日	東京
4月	実践 サードパーティーロジスティクスプロバイダーの選定と活用	セミナー	17日	東京
5月	自動車技術展 人とくるまのテクノロジー展2014	展示会	21日～23日	横浜
6月	第25回 設計・製造ソリューション展(DMS) 第18回 機械要素技術展(M-Tech) 第22回 3D&バーチャルリアリティ展(IVR)	展示会	25日～27日	東京
9月	国際物流総合展2014(LOGIS-TECH TOKYO 2014)	展示会	9日～12日	東京

6. LIFEによる物流改善提案のご紹介 ～作業分析編～

前回109号(H26.1.6発行)にてLIFE(Logistics Innovation For Efficiency)による全般的な活動の紹介を行いました。今号からは、もう少し具体的な手法について順次紹介していきます。

作業で待ち時間があるのにいつも残業になっている、作業員毎に作業量の差異が大きい等構内物流での問題点について、調査員が作業員毎に丸1日張り付いて作業(行動)を作業測定用紙に分単位で記録し、作業におけるムダ・ロスを解析して合理化案を策定する手法が作業員分析です。

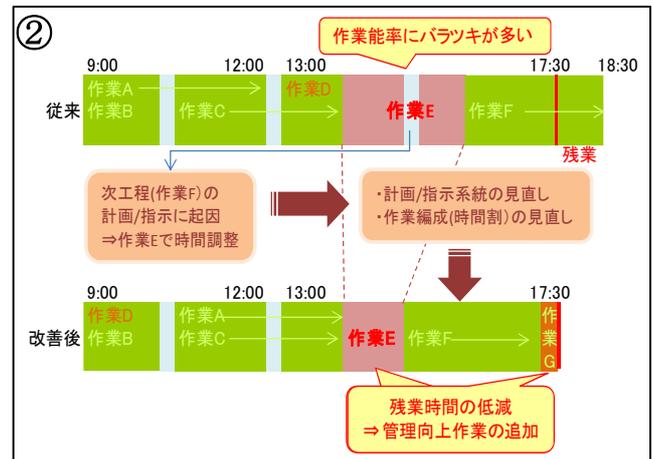
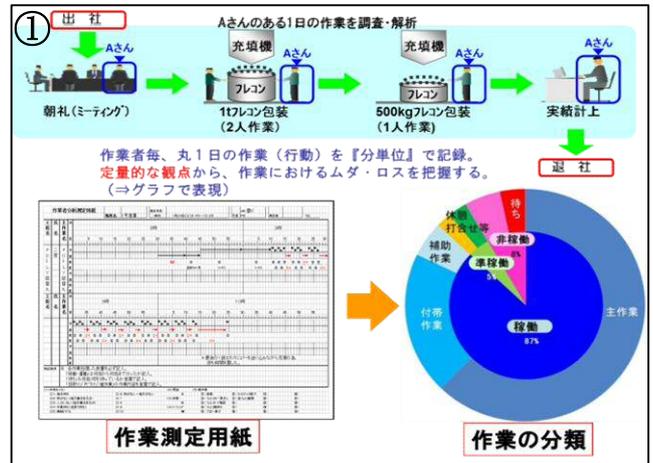
定量的にロスを抽出するために各作業員の動きをグラフ(可視)化して、非稼働や待ち時間の原因を追究し、作業の時間帯や、作業段取りの変更等からお客様のニーズに沿うように検討、提案していきます。

右図(②)は、あるお客様の構内作業を分析した時のタイムチャートの一例です。

次工程の計画/指示に起因し、前工程での作業能率にバラツキ(次工程開始までの時間調整)が見られたので、前倒しで作業が出来るように計画/指示系統を見直す事で、残業の低減及び管理面向上のための作業を追加する事が出来ました。

さらに、当社は請け負った後の業務改善についてPDCAを回しながら継続的にフォローしていきます。

現場に問題はありそうだが、どこに問題があるのかははっきりしないなどのお悩みがございましたら、解決へのお手伝いをさせていただきますので当社までご相談・ご依頼をお願い致します。



芝のそよ風

ソリューション営業部 和田 聡

3月になり、少しずつ春が近づいてきましたが、まだまだ寒い日が続いています。この冬は、インフルエンザの流行やノロウイルスの集団感染といった心配なニュースが続きましたが、それ以上に気になるニュースが、来月4月からの消費税率が8%となることではないでしょうか。

消費税アップ前の駆け込み需要で景気が良くなっているようなことを耳にします。皆様の中にも買い物をされた方は多いのではないのでしょうか。少しでも税率が5%の安い時期に購入して、家計の支出を抑える防衛策を講じていることと思います。税率が上がることは変えられないため、あとは自分で出来る事に最善を尽くすしかないと思います。

私は、昨年11月に現在の職場へ戻ってきました。この職場で自分がやるべきことは、前の職場である「現場」目線も考えて業務に取り組む事と考えています。今後も職場メンバーと協力しながら最善を尽くして頑張っていこうと改めて心に誓いました。